

苫小牧市立清水小学校学校だより

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』
◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール
simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp
令和5年12月22日発行

第 10 号

季節の行事や風習を感じる冬休み

今年も残すところ、あと約1週間となりました。学校でも、本日をもって、2学期が無事終了します。

2学期は、6年生の修学旅行や各学年の校外学習のほか、大きな行事である学芸会がありました。これらの行事では、子どもたちが目標を決めて計画的に活動する姿や目標に向けて努力する姿が見られました。行事を通して、友達と協力することも学び、大きく成長しました。子どもたちが大きな事故等もなく元気に2学期を過ごすことができましたことは、ひとえに保護者の皆様、地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。

さて、明日から始まる冬休みは、日本の昔からの行事に出会う時期です

年末恒例の大掃除は、今年一年の汚れや厄をきれいにし、新しい年を清々しく迎えられるようにするものです。12月中頃から始め、大晦日当日は、簡単な掃き掃除程度に留める掃き納めで終わるのがよいとされているようです。大掃除は、子どもたちにとっても、家族の一員としてお手伝いをしたり、自分の身の周りのものを整理したりするよい機会になるでしょう。

そのほか、大晦日の除夜の鐘の108回は、仏教思想に基づく人間の煩惱の数を表しているといわれています。また、正月は、一年の大切な節目であり、新しい一年の豊作を願って準備されてきました。お正月飾りは、縁起を担ぎ29日（二重苦）と31日（一夜飾り）を避けて飾りました。初夢に縁起がよいとされる「一富士、二鷹、三茄子」は、諸説ありますが、「富士＝無事、鷹＝高い、茄子＝成す」に掛けたものといわれています。

季節の行事や風習には、様々な思いがあると感じます。学校も今年一年間を振り返るとともに、夢や願いをもって新年を迎えられるよう準備してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、来年もご支援のほどよろしく願いいたします。皆様、よいお年をお迎えください。